

# 研修センター便り

No.6 後志教育研修センター

平成26年 10月15日 発行

TEL 0136-22-1337

FAX 0136-22-2681

## 研修講座も残り二講座に 所長 平 正 博

ナナカマドの実が鮮やかな朱に染まってまいりました。5月に始まりました研修講座も残すところ二つとなりました。この間、講師・外部講師・指導主事には、教育の不易の部分と時代とともに変わらなければならない最新の教育指導について教えていただきました。また、受講者の皆様の研修に対する熱い姿勢にも心打たれるものがございます。とりわけ、児童数100名以下で6学級規模の小学校には、フリーとなる先生がおりません。しかし、そのような学校からも研修講座を受講する先生はおります。出張を認めてくださる校長先生や同僚の包容力に、「米百俵の精神」以上の極めて熱い「お心」を感じます。最近では、芝を背負いながら本を読む二宮尊徳像はなかなか見当たりません。彼が愛読している本が「大学」という本で、そこには「三つの道」が示されております。



【第一】：人間は、天から授かった立派な徳を持っている。だが、せっかくの徳も様々な欲望で、曇らされてしまうから、常に磨いておかないといけない。【第二】：自分を磨いたら、周りに伝えることに努めなければならない。自分だけが良しとして終わることはいけない。【第三】：そういう努力を常に継続し、最高のレベルに保つことに努める姿勢が必要である。この三つの道は、現在の学習指導要領の考え方にもつながるお話が見え隠れします。人の生き様の基本は2500年前を越えた今も同じということに改めて感動する次第であります。いつの時代もやはり研修は大切な営みだと考えます。

### ◆10・11月 研修講座開講予定◆ (受講申込はいつでも可能です)

10月31日(金) 英語科2日目 (会場：留寿都村立留寿都中学校 留寿都村字留寿都 179-1)  
TEL 0136-46-3018)

講師 佐藤 寛子 教諭による授業実践が午前中にあります)

11月 6日(木) 道徳教育 (会場：喜茂別町農村環境改善センター 喜茂別町字伏見 264-4  
TEL 0136-33-3033)

この講座は、後志教育研究会 道徳研修会と連携して開催します。講座受講者の参加態様は次の通りです。

午前(10:30~ 喜茂別町農村環境改善センターにて2講座に参加します)

午後(13:00~ 後教研参加者と同じ参加態様となり、喜茂別中学校での公開授業等に参加します)

(授業者 喜茂別中学校 教諭 山田 耕平 先生 13:25~14:15)

なお、道徳教育研修講座に新規申し込まれる先生は当該教育委員会とセンターへ申込願います。後教研事務局へは、センターの方で連絡致します。(後志教育研修センター - TEL 0136-22-1337)

## 「風度」感じる 森山 将司 調査研究主事 (倶知安町立倶知安中学校 教諭)

「森山先生の言うことなら聞きましょう。間違いない。」、この「〇〇氏の言うことなら・・・」と言うフレーズは日常よく耳にします。その人の人柄を信頼し協力しようとする時に出てくる言葉です。中国ではこのことを風の度と書いて「風度」というそうです。

森山調査研究主事ほど、この「風度」を強く感じる人はおりません。昨年までは、現 松林 丘峰 所員が担っている研修講座主事を二年間担当していただきました。研修講座事業は、事前打合せや講座運営などに係る調整をはじめ、精緻な企画力と膨大な事務処理能力を要します。当然29講座すべてが個別の条件の基に成立しますから運営に関与する因子は膨大な量となります。それだけをこなすにも大変なご苦労が待ち受けておりますが、それだけをこなしたからといって講座が開設できるとは限りません。順風満帆な運営にはまだまだ程遠いのであります。そこには人が人を集める時に必要な「人情の機微」といいますか「利他の心」といいますか、必ず「心」が介在してきます。森山主事はかなり広い人脈をもつ先生ではありますが、それとてご依頼申し上げたすべての講師と顔見知りということはありません。初めてお会いする講師も大勢おりますが、森山主事に会ってお話をするとほとんどの方が心を和ませ、ご理解・ご協力いただけるようになります。すべて森山主事の持って生まれた「風度」がなせる業であります。

このような主事にも弱点はあります。暑さにめっぽう弱いことです。しかし、一端首にタオルを巻くと「必殺課題解決引受人」へと変身します。このように柔軟かつ責任感の強い主事ですから、学校における生徒からの信望は抜群であります。これまでも何度か所属校の倶知安中学校にて講座を開設しましたが、行く度に大勢の生徒から親密な声のシャワーを浴びております。また、生徒にも気軽に声をかけられ励ましておられる主事の姿は、「現代版 金八先生」の雰囲気醸し出します。どこか懐かしい教師の香りが漂う時も多々ございます。今年度は俱中着任以来の夢が叶い、1学年を担当しています。俱中三年目の勤務となる主事には学級担任の要職は外せない、榊井校長のお話であります。学級担任、教科担任、そして調査研究主事として、一人何役も担っていただいておりますが、持ち前の明るさでその重さを感じさせません。おそらく今日も同僚に何かを頼んだり、何かを頼まれたりしているはずで。やはり、「風度」を感じます。

兼務所員三年目となる森山主事のご労苦に心よりお礼申し上げますとともに、所員を含め3名の教員を派遣いただいております榊井 孝 校長先生をはじめ、教職員の皆様に深甚なる感謝を申し上げます。

